

所管する学校に対する業務改善方針・業務改善計画



平成30年3月
野々市市教育委員会

こんな現状を

	範囲	H29.04		H29.05		H29.06	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
小学校	45時間未満	50	(29%)	40	(23%)	45	(26%)
	45時間以上 60時間未満	34	(20%)	42	(24%)	35	(20%)
	60時間以上 80時間未満	57	(33%)	49	(28%)	53	(31%)
	80時間以上 100時間未満	21	(12%)	25	(15%)	26	(15%)
	100時間以上	9	(5%)	16	(9%)	13	(8%)
中学校	45時間未満	7	(9%)	11	(13%)	13	(16%)
	45時間以上 60時間未満	6	(7%)	2	(2%)	5	(6%)
	60時間以上 80時間未満	18	(22%)	6	(7%)	7	(9%)
	80時間以上 100時間未満	14	(17%)	23	(28%)	15	(18%)
	100時間以上	37	(45%)	41	(49%)	42	(51%)
全体	45時間未満	57	(23%)	51	(20%)	58	(23%)
	45時間以上 60時間未満	40	(16%)	44	(17%)	40	(16%)
	60時間以上 80時間未満	75	(30%)	55	(22%)	60	(24%)
	80時間以上 100時間未満	35	(14%)	48	(19%)	41	(16%)
	100時間以上	46	(18%)	57	(22%)	55	(22%)

こう変えます！

- 1 短期目標（業務改善に着手した段階）** ……平成29～30年度
1か月当たりの時間外勤務時間が3か月連続80時間以上の勤務を根絶 など
- 2 中期目標（計画どおり業務削減が進んだ段階）** ……3年後までに
1か月当たりの時間外勤務時間を繁忙期であっても80時間以下、かつ年平均45時間以下に抑制
- 3 長期目標（教職員定数の改善等の抜本的な改革が行われた段階）**
1か月当たりの時間外勤務時間を年間通して45時間以下に抑制

時間外勤務の現状は？

▽平成29年度、繁忙期の4～6月は、約3～4割が月80時間以上の時間外勤務時間を行う危機的な状況でした。

なぜ長時間の時間外勤務に？

▼一つの仕事に多くの時間をかけて丁寧に行う若手教員や業務が集中しやすい教頭や主幹教諭、部活動指導に多くの時間を割く中学校教員が長時間の時間外勤務を行う傾向があります。

▼人的配置が十分行われないうままに指導内容や時数が増えたこと、以前より幅広く、きめ細かい指導が学校に求められるようになったことなどが原因とも言われています。

そのため学校は？

- 県全体で、毎年、8月11～17日をリフレッシュウィークとし、この期間内は会議や研修を行いません。
- 県全体で、最終退校時刻の目標や月1回の定時退校日を設定します。
- 県全体で、週2日（平日1日と土曜日か日曜日の1日）以上の部活動休養日を設けます。大会や練習試合を除いた1日の活動時間は、長くとも平日2時間程度、学校の休業日は3時間程度とします。
- 市内の学校で、その実情に応じて工夫した業務改善の取組を積極的に進めていきます。

そのため教育委員会とは？

- 県全体で、教育委員会主催の調査・照会、会議・研修、事業・イベントを整理・精選します。
- 県全体で、部活動指導員のモデル配置等、学校を支援するスタッフの導入を進めていきます。
- 市独自に、勤務環境の改善を進めており、既に全小中学校でタイムカードや留守番電話、普通教室を含めた校内全体の空調設置が済んでいます。
- 市独自に、リフレッシュウィーク全体を学校閉庁日に設定し、部活動や学校施設開放は行わないこととし、全教職員に年次有給休暇や特別休暇取得を促します。
- 市独自に、「所管する学校に対する業務改善方針及び業務改善計画」を策定し、教育委員会が率先して組織的・継続的に業務改善の取組を推進します。

家庭や地域のみなさまへのお願い

※「所管する学校に対する業務改善方針及び業務改善計画」の詳細版は学校教育課のweb上に公表しています。

- ◇教職員が心身の健康を維持し、専門性を発揮し、誇りや情熱を持って子供たちと真摯に向き合うことができるよう、教職員の勤務時間の現状や多忙化改善に向けた学校と教育委員会の取組について、ご理解とご協力をお願いいたします。
- ◆学校を支援するスタッフやボランティア等をしていただければ、学校教育課（227-6162）まで連絡をお願いいたします。
- ◆学校閉庁日に学校と連絡をとる必要が生じた場合は、平日の8時30分～17時15分の間、学校教育課（227-6162）で受け付けいたします。